



Y's-Cloud

ユーザーズマニュアル

株式会社 YE DIGITAL

目次

目次	2
変更履歴	3
第1章 はじめに	6
1. 1 マニュアルの構成	6
1. 2 動作環境	9
1. 3 利用開始時の提供情報	10
1. 4 記載上の凡例	11
1. 5 利用開始時の動作確認	12
第2章 MMCloud/Y's-Cloud とは	13
2. 1 MMCloud/Y's-Cloud を使っていくためには	14
2. 2 MMCloud/Y's-Cloud の機能	15
第3章 システムの構築	17
3. 1 システム構築の流れ	18
3. 2 機器/型番/グループ/役割/ユーザの関係	20
3. 3 システムに関する設定	22
3. 4 グループに関する設定	23
3. 5 ユーザに関する設定	24
3. 6 機器に関する設定	26
3. 7 画面表示に関する設定	30

変更履歴

版数	日付	変更内容
1.00	2014/06/30	初版発行
1.01	2014/08/01	全体的な記載内容の見直し
1.02	2014/08/28	バージョン番号の見直し
1.03	2014/10/10	<ul style="list-style-type: none"> ・ MMCloud 機能アップに伴う変更 (2. 2 保守工程機能追加) ・ ログイン画面、その他の画面イメージの変更
1.04	2014/12/09	Disk 使用量情報表示追加 (3. 2 システム設定)
1.05	2015/03/10	全体的なレイアウトの見直し 属性の修正、追加 3. 2 システム設定 3. 4 グループに関する設定 3. 5 使用者に関する設定 3. 6 機器に関する設定 追加機能について追記 2. 2 MMCloud の機能 型番のグループ紐づけについて追記 3. 3 グループ/機器/型番/役割/ユーザの関係 3. 6. 1 型番の設定項目 稼働状態設定について追記 3. 6. 4 稼働状態設定 イベント設定について追記 3. 6. 5 イベント設定 トレンドビュー機能について追記 3. 1 システム構築の流れ 3. 7 トレンドビュー設定
1.06	2015/04/09	テーマカラー数の修正 2. 2 MMCloud の機能
1.07	2015/04/14	一覧表のヘッダを「NO」から「No.」に変更 マニュアル一覧を追加 1. 1. 2 マニュアルの構成 システム構築の流れを修正 2. 1 MMCloud を使っていくためには データの登録順序を追記 3. 1 システム構築の流れ 「機器/型番/グループ/役割/ユーザの関係」と「システムに関する設定」の章の順序を入れ替え

		機器、型番の説明を修正 3. 2 機器/型番/グループ/役割/ユーザの関係 章のタイトルを変更 3. 3 システムに関する設定 章立てを変更 3. 5. 3 役割/ユーザの例 3. 6. 2. 2 稼働状態設定 3. 6. 4 イベント変換設定 登録項目の表記方法を変更 3. 3 システムに関する設定 3. 4 グループに関する設定 3. 5. 1 役割の設定項目 3. 5. 2 ユーザの設定項目 3. 6. 1 型番の設定項目 3. 6. 2. 1 通信プロファイル 設定項目の概要 3. 6. 3 アラーム設定 3. 6. 4 イベント変換設定 3. 7. 1 トレンドビュー設定 全体的な文言、表記、レイアウトの修正 弊社ロゴマークを変更 表紙、奥付
1.08	2015/09/13	全体的なレイアウト、文言の修正 弊社住所を変更 奥付 マニュアルの構成に外部 API ユーザーズマニュアルを追加 1. 1 マニュアルの構成 新機能を追加 2. 2 MMCloud の機能
1.09	2015/10/13	文書番号の修正
1.10	2016/04/23	新機能を追加 2. 2 MMCloud の機能
1.11	2016/07/21	全体的なレイアウト・文言の修正
1.12	2017/03/10	新機能を追加 2. 2 MMCloud の機能 3. 1 システム構築の流れ 3. 7. 2 トレンド設定 動作環境の追加 1. 2 動作環境

1.13	2018/08/29	技術的なお問い合わせ相談窓口 電話番号を変更、FAX 番号を削除
1.14	2018/10/03	1.2 動作環境 説明の追記
1.15	2019/03/01	社名変更、ドメイン名変更に伴う表記変更
1.16	2019/04/16	1. 5、3章 社名変更に伴う変更画面の差替え
1.17	2019/12/12	Y's-Cloud 併記に伴う更新
1.18	2020/01/23	1. 2 動作環境 対応 OS から Windows 7 を削除 タブレットを追加

第1章 はじめに

この度は、「MMCloud/Y's-Cloud」のご契約、ありがとうございます。

本書では、MMCloud/Y's-Cloud をシステム動作させるためのシステム構築方法について記載いたします。

主な対象者として、お客様にてシステム構成を立案し、構築を行うシステム管理者を想定しています。

1.1 マニュアルの構成

1.1.1 関連文書

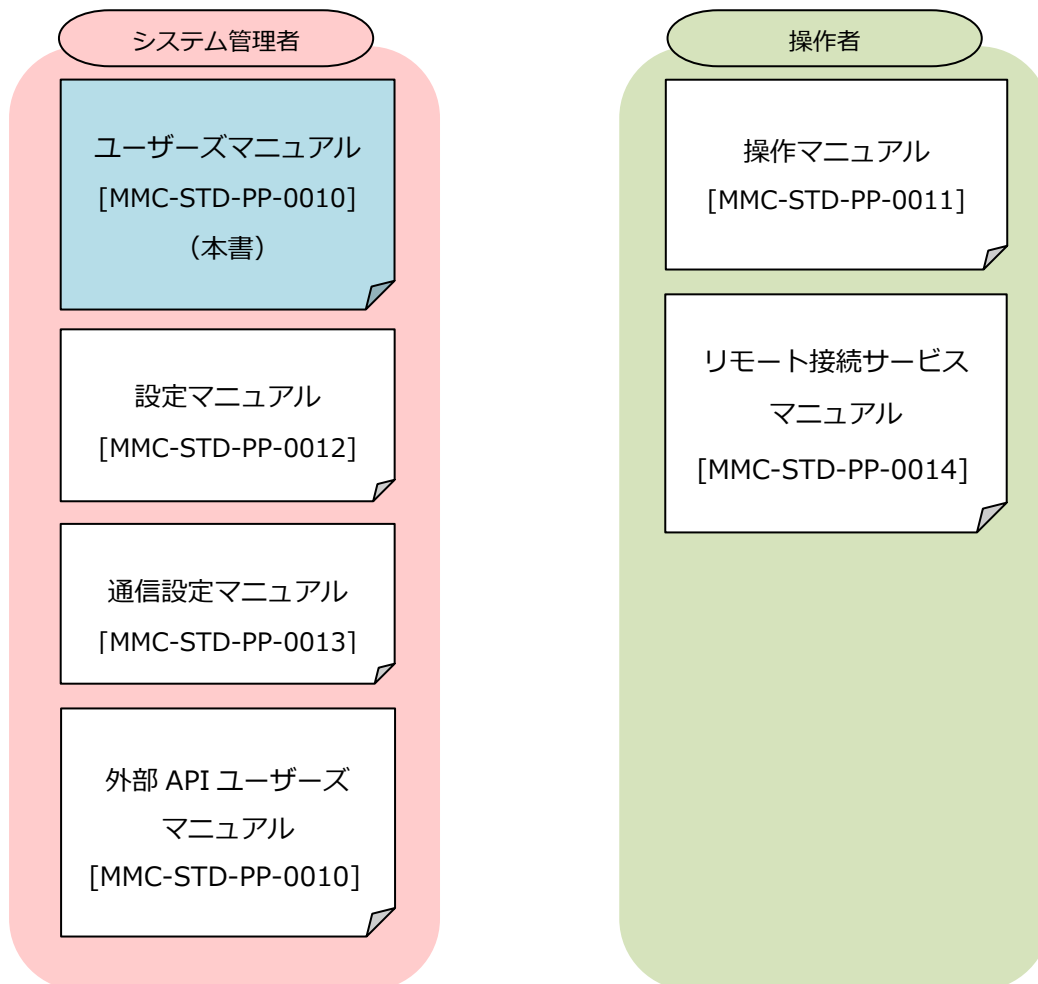
No.	文書番号	文書名
1	MMC-STD-PP-0011-xxx	MMCloud/Y's-Cloud 操作マニュアル
2	MMC-STD-PP-0012-xxx	MMCloud/Y's-Cloud 設定マニュアル
3	MMC-STD-PP-0013-xxx	MMCloud/Y's-Cloud 通信設定マニュアル
4	MMC-STD-PP-0014-xxx	MMCloud/Y's-Cloud リモート接続サービスマニュアル
5	MMC-STD-PP-0010-xxx	MMCloud/Y's-Cloud 外部 API ユーザーズマニュアル

※文書番号中の xxx は版数などを示し、変更されます。

※以降、説明のない限り、「設定マニュアル」などと略記します。

1. 1. 2 マニュアルの構成

MMCloud/Y's-Cloud ではシステム管理者、操作者別に以下のマニュアルを準備しています。
使用目的に合わせ、適切なマニュアルをご参照ください。



マニュアル	内容
ユーザーズマニュアル	システムの概要、構築の流れが記載されたマニュアルです。
操作マニュアル	運用開始後に、データの表示、分析を行う方法が記載されたマニュアルです。
設定マニュアル	ユーザ、型番、機器など、運用開始前に登録、設定する項目に関して記載されたマニュアルです。
通信設定マニュアル	機器 - システム間の通信方式、通信データ形式仕様が記載されたマニュアルです。
リモート接続サービスマニュアル	リモート接続サービスを利用するための手順が記載されたマニュアルです。
外部 API ユーザーズマニュアル	外部 API を利用するための手順が記載されたマニュアルです。

「ユーザズマニュアル」(本書)をお読みいただいた後、「設定マニュアル」をもとにユーザ、型番、機器などを登録してください。通信プロファイルの登録の際には、「通信設定マニュアル」を併せてご覧ください。報告書や資料の登録、稼働状況や通信状況の表示など、運用開始後の操作に関する詳細は「操作マニュアル」をご参照ください。

1.2 動作環境

MMCloud/Y's-Cloud を使用するには、以下の動作環境が必要です。

No.	項目	仕様
1	ブラウザ	(1)Microsoft Internet Explorer 11 デスクトップ版 (※1) (2)Google Chrome (※2) (3)Microsoft Edge (※2)
2	解像度	1,920×1,080, 1,920×1,200, 1,280×1,024, 1,280×768, 1,024×768 推奨：1,280×1,024
3	言語	日本語/英語
4	対応 OS	Windows 8.1, Windows 10

※1：互換表示及び Modern UI 版は非対応。

※2：タッチ操作には非対応。

タブレットについては以下の環境について動作を確認しています。

No.	項目	ブラウザ
1	iOS	(1)Safari (2)Google Chrome
2	Android	(1)Google Chrome

※ ツールチップ表示、ダウンロード等の一部操作には非対応。

1.3 利用開始時の提供情報

ご契約時にお渡しした「MMCloud/Y's-Cloud サービスライセンス証書」には、以下の内容が記載されています。重要な書類ですので、システム管理者にて保管をお願いします。

No.	分類	項目	仕様
1	URL	アクセス先 URL	MMCloud/Y's-Cloud にアクセスするための URL です。
2	ログイン	Customer ID	MMCloud/Y's-Cloud の契約毎に契約者に通知される ID です。 ログイン時に利用者全員に必要になります。
3		デフォルト User ID	MMCloud/Y's-Cloud 契約時から利用できる User ID です。 全ての情報にアクセス可能な"システム管理者"権限ですので、 適切な方にのみお知らせください。
4		デフォルト Password	デフォルト User ID 用のパスワードです。
5	FTP	FTP サーバ ホスト名	MMCloud/Y's-Cloud に FTP でアクセスする際のホスト名 (※3) です。
6		FTP サーバ ポート番号	MMCloud/Y's-Cloud に FTP でアクセスする際のポート番号 (※3) です。
7		FTP ログイン ユーザ名	MMCloud/Y's-Cloud に FTP でアクセスする際のユーザ名 (※3) です。
8		FTP ログイン パスワード	MMCloud/Y's-Cloud に FTP でアクセスする際のパスワード (※3) です。
9		FTP 受信用 フォルダ	MMCloud/Y's-Cloud に FTP でアクセスする際のフォルダ (※3) です。
10	TCP	TCP サーバ ホスト名	MMCloud/Y's-Cloud に TCP でアクセスする際のホスト名 (※3) です。
11		TCP サーバ ポート番号	MMCloud/Y's-Cloud に TCP でアクセスする際のポート番号 (※3) です。

※3 : MMCloud/Y's-Cloud の契約毎に契約者に通知されます。

1.4 記載上の凡例

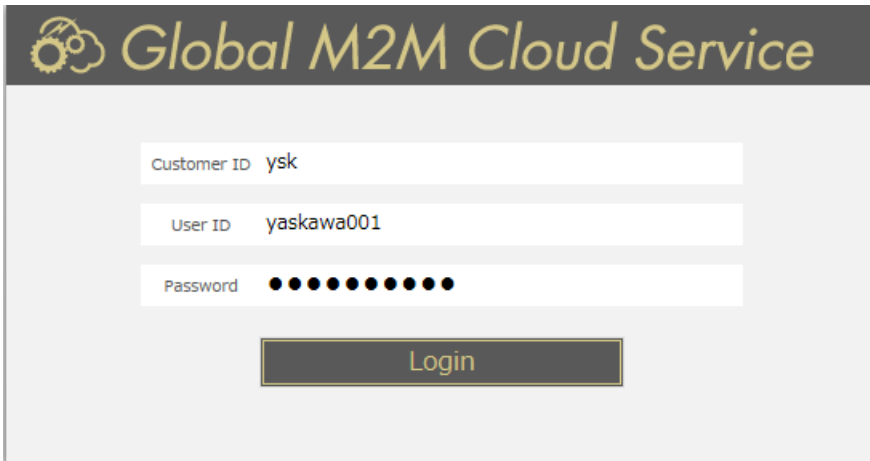
マニュアル記載の用語の記載方法の統一のため、以下のルールで記載しています。

No.	項目	仕様
1	[画面名]	画面を示す単語の場合、[]で囲んで表記します。 例 : [ホーム]、[機器稼働状況一覧]など
2	" 表示名 "	画面内に表示された単語や項目などは" "で囲んで表記します。 また、画面内の表示などは[画面名]:"表示名"と表記します。 例 : [機器稼働状況一覧]:"最終通信日時"など
3	< 操作名 >	マウスなどでクリックし、操作するようなボタンは< >で囲んで表記します。 例 : <詳細設定>など

1.5 利用開始時の動作確認

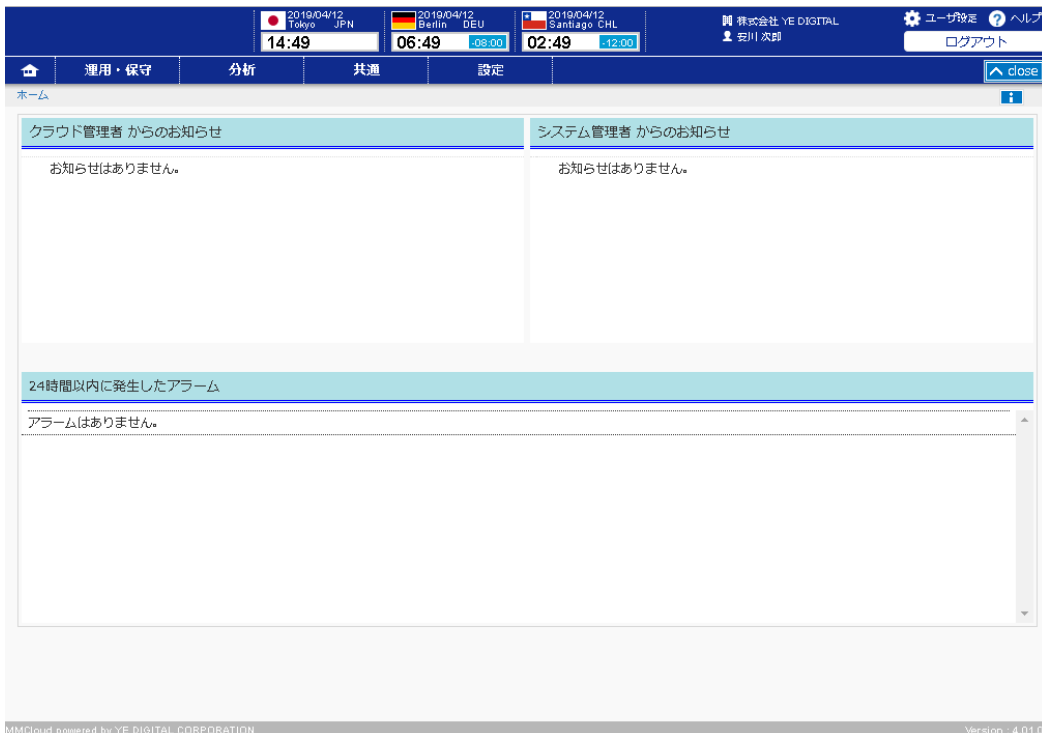
「1.2 動作環境」に記載された環境で、インターネットに接続されているブラウザから、「MMCloud/Y's-Cloud サービスライセンス証書」に記載の URL へアクセスしてサービスを開始します。

◆ブラウザから「アクセス先 URL」にアクセスすると、[ログイン]画面が表示されます。



◆「MMCloud/Y's-Cloud サービスライセンス証書」に記載された「Customer ID」、「User ID」、「Password」を入力し、<Login>をクリックしてください。

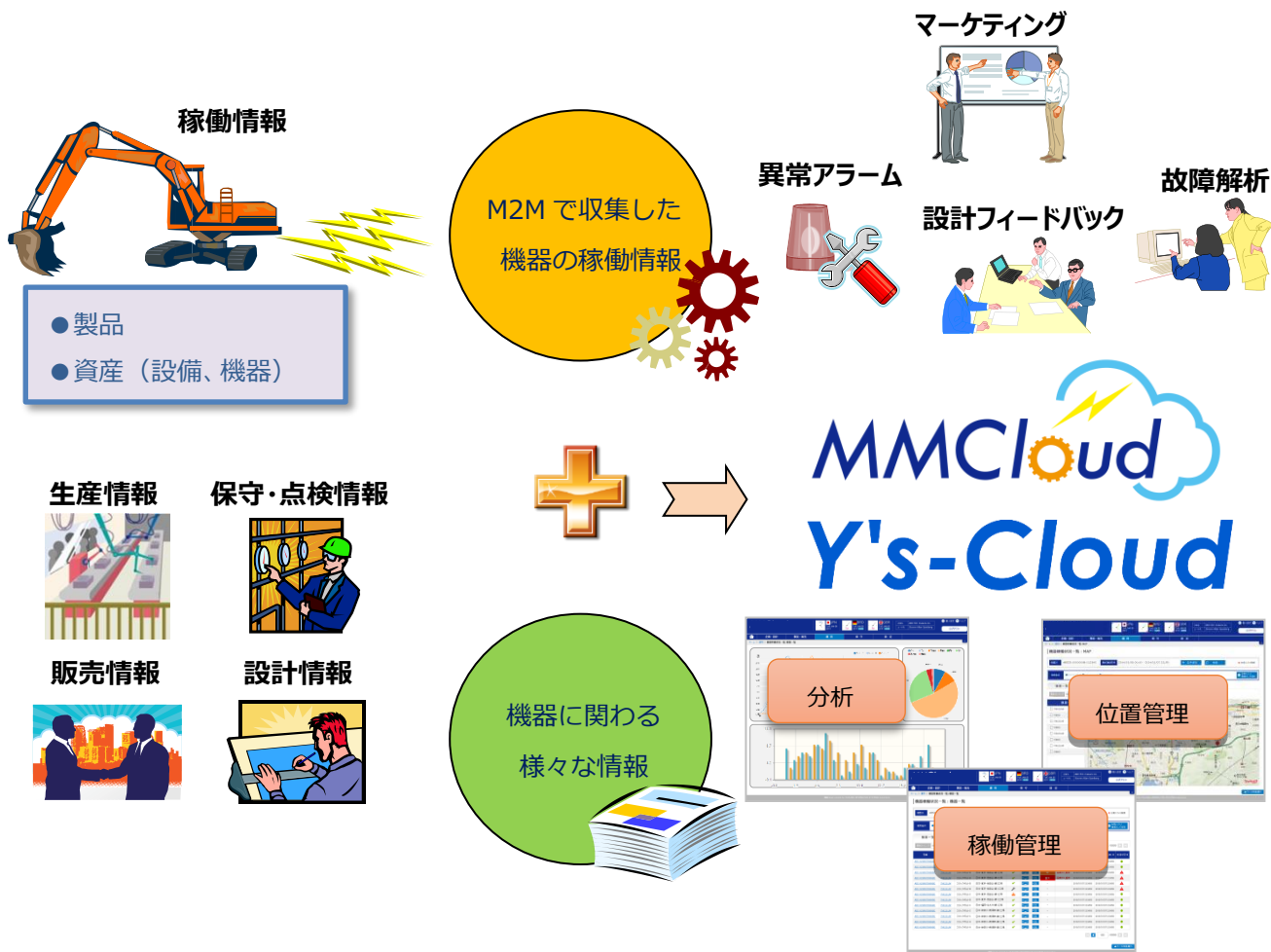
[ホーム]画面が表示されれば、MMCloud/Y's-Cloud のサービスは開始されています。



正常にログインできない場合、サポートセンターにお問い合わせください。

第2章 MCloud/Y's-Cloud とは

MMCloud/Y's-Cloud は、IoT/M2M 関連技術を用いて収集した機器の稼働情報をベースに、関連する様々な情報を管理するグローバル M2M 管理に適したクラウドサービスです。

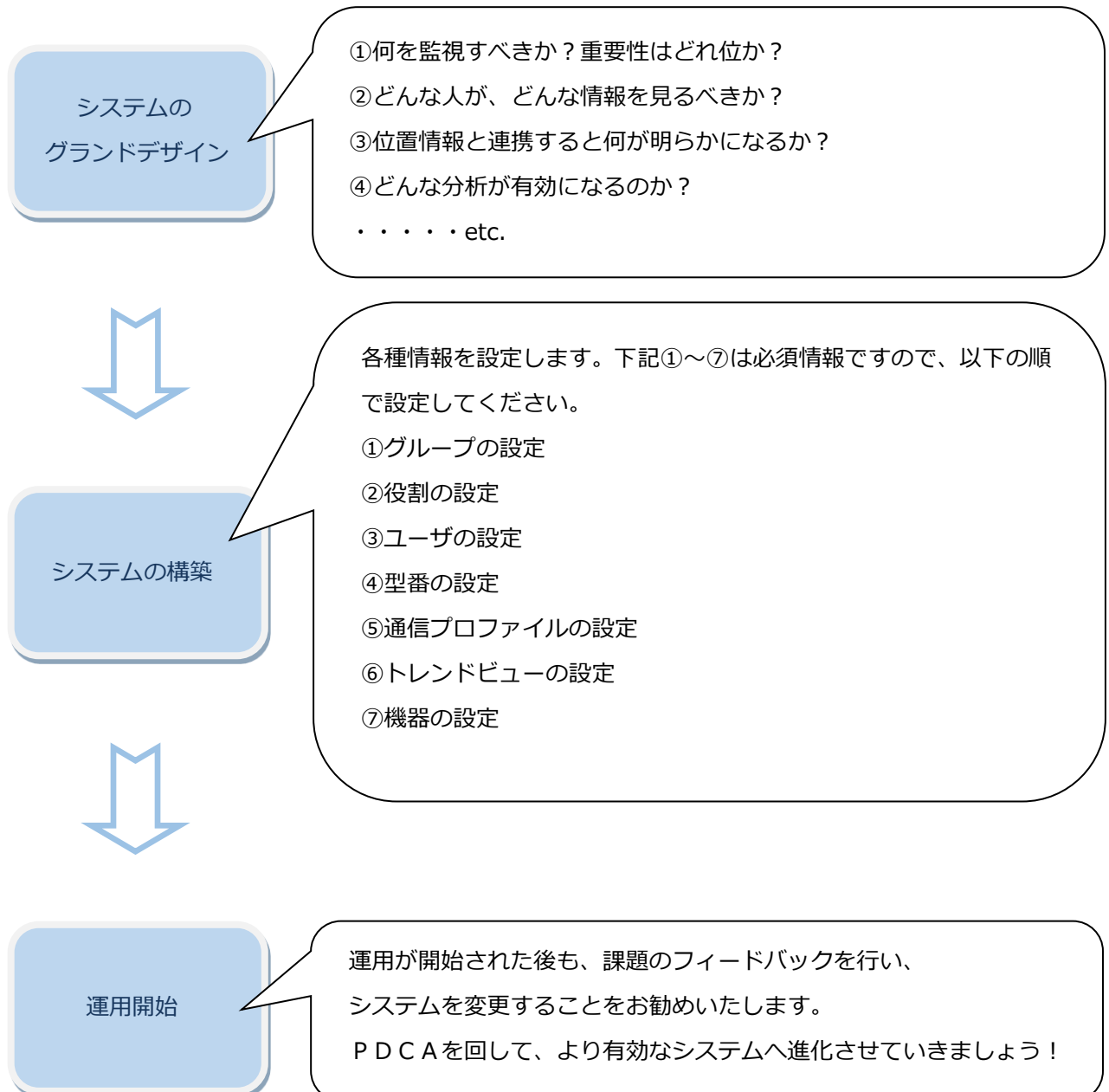


2. 1 MMCloud/Y's-Cloud を使っていくためには

MMCloud/Y's-Cloud を使用して製品管理を実施していくためには、システム的环境構築が必要です。

そして、有効なシステムを構築するためには、その前段階で十分に「なにをすべきか？」を検討する必要があります。

下記に概略のシステム構築の流れを示します。



2. 2 MMCloud/Y's-Cloud の機能

MMCloud/Y's-Cloud では以下の機能を提供します。

お客様のシステムと同じく、MMCloud/Y's-Cloud 自体も進化するシステムです。今後、追加機能を順次搭載予定です。

No.	機能分類	機能名	概要
1	共通機能	グローバル対応	システム内でユーザ毎に言語を切り替えて使用でき、画面表示時に即座に現地時刻の切り替えができます。
		ユーザ認証	Customer ID、User ID、Password による、不正アクセスを防止するログイン認証を行う事ができます。
		権限設定	ユーザ毎に閲覧可能な画面を設定することができます。また担当グループを決める事により、閲覧可能な機器を制限できます。
		ファイル管理	機器のマニュアル、設計書、図面、画像等の関連ファイルをクラウドにアップロードし、クラウドからダウンロードすることが出来ます。 また、ファイルの一元管理も可能です。
		外部連携 API	外部データ取得 API を使用し、機器の稼働履歴を取得できます。
2	分析	稼働状況分析	機器または型番単位の稼働状況を様々な集計単位で集約表示し、分析に活用できます。
		アラーム状況分析	機器または型番単位のアラーム状況を様々な集計単位で集約表示し、分析に活用できます。
3	運用	機器稼働監視	機器または型番単位の稼働状況を様々な集計単位で集約表示し、分析に活用できます。
		機器稼働履歴表示	機器または型番単位のアラーム状況を様々な集計単位で集約表示し、分析に活用できます。
		所在地確認	機器の位置情報や移動経路を地図上に表示できます。
		稼働時間監視	機器の稼働時間（日単位）を表示できます。
		機器情報管理	機器固有の情報を一元管理できます。
		ファームウェアアップデート	遠隔地の機器から取得するファームウェアファイルなどのデータファイルをクラウド上に登録でき、公開ファイルの共有化と公開情報の一元管理を行えます。
		アラーム通知機能	機器毎にアラーム条件を設定できます。 異常発生時に画面にアラームレベルを表示し、その内容をメールで通知できます。
		データダウンロード	収集データをクラウドから CSV ファイル形式でダウンロードできます。
		通信ログ表示機能	機器から送信された通信電文や FTP データを、一覧及び詳細データで確認できます。
		レイアウト監視機能	グループまたは型番単位のレイアウトを表示し、各種データポイント値や稼働状況、アラームなどをグラフィカルに監視できます。

4	保守	保守・点検管理	機器の稼働状況や点検、修理内容に関する情報を一元管理できます。
		VPN リモート接続 (オプション機能)	機器とお客様の PC をセキュアにネットワーク接続し、遠隔地から機器を操作する事ができます。
5	システム 管理補助	一括登録	CSV ファイルに登録された複数の情報データを読み込むことで、簡単に設定情報を追加する事ができます。
		ご利用パケット量 照会	ご利用パケット量（機器との通信量）を画面で確認する事ができます。
		リソース管理機能	ディスクの使用量や地図アクセス数、登録機器台数の契約状況及び使用状況を画面で確認する事ができます。
		画面カスタマイズ	画面の左上にあるロゴや画面テーマカラーを、企業イメージに合わせ任意に変更する事ができます。
		お知らせ通知	管理者からのお知らせ内容を画面で設定できます。 [ホーム]画面にメッセージを表示し、利用者へ内容を通知する事ができます。
		データ保持設定機能	収集データ及び通信ログのデータ保持期間を設定する事ができます。
6	その他	通信プロトコル選択	通信プロファイルで様々な通信仕様に対応できます。通信プロファイルは機器毎に定義可能です。
		ポータルサイト	MMCloud/Y's-Cloud のサポート情報をサイト内でご提供致します。 製品のリリース情報や各種マニュアルのダウンロード及び FAQ を確認できます。

第3章 システムの構築

本章ではシステムのグランドデザイン検討後のシステムの構築方法について、概略を説明します。

構築はログイン後の<設定>メニューを使って行います。

<設定>メニューの使用方法に関する詳細は「設定マニュアル」をご参照ください。

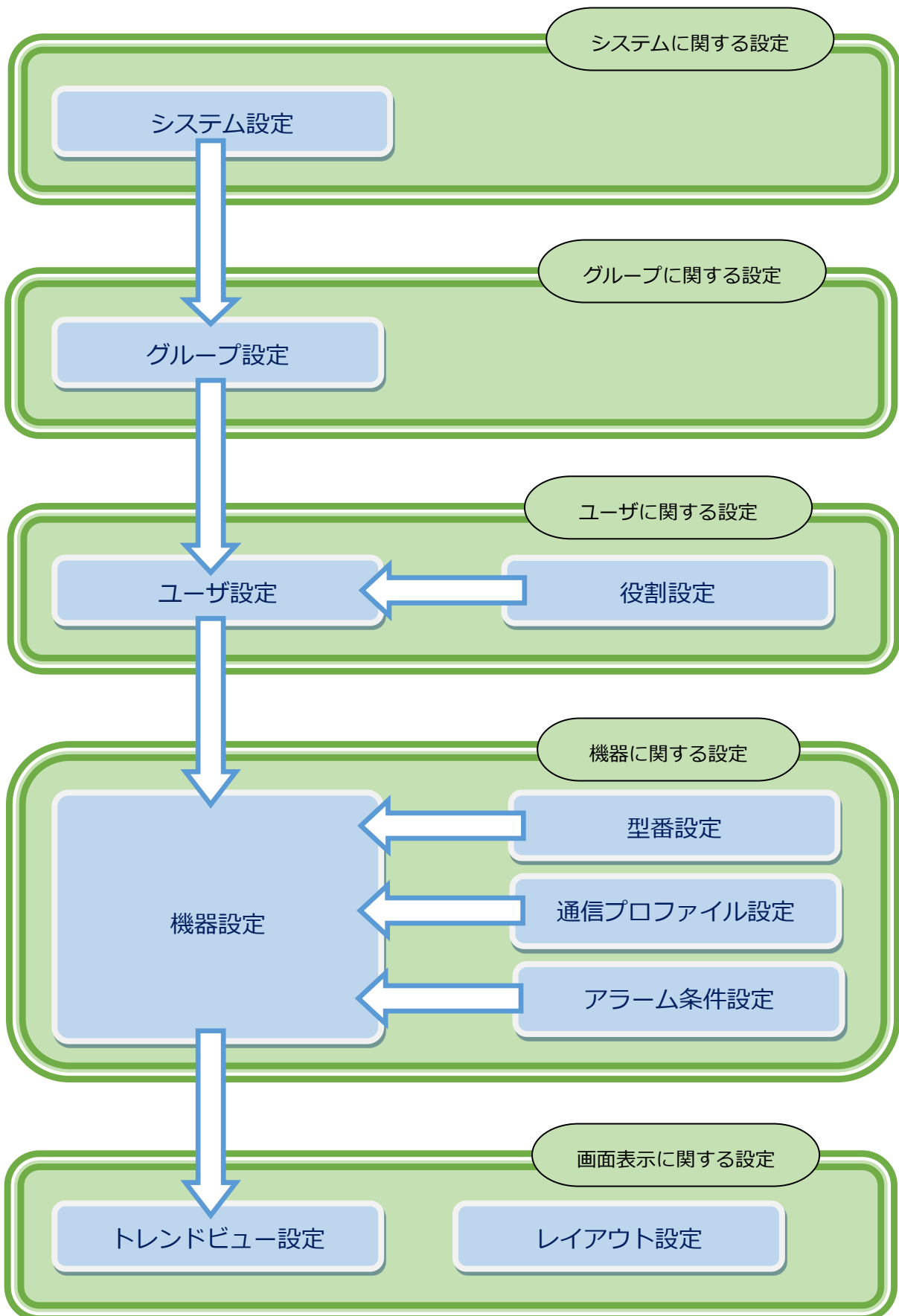


The screenshot displays the MMCloud user interface. At the top, there is a navigation bar with tabs for '運用・保守', '分析', and '共通'. The '設定' (Settings) tab is highlighted in blue. Below the navigation bar, a vertical menu is shown, listing various system management options: 'システム設定', 'グループ一覧', '役割一覧', 'ユーザー一覧', '型番一覧', '通信プロファイル一覧', 'アラーム条件一覧', 'トレンドビュー一覧', 'イベント変換一覧', '機器一覧', '配信アター一覧', 'レイアウト一覧', and 'お知らせ一覧'. A red dashed border highlights this menu. A green callout box with a white arrow points to the menu, containing the text '<設定>メニュー'. The main content area shows a 'クラウド管理者 からのお知らせ' (Cloud Administrator Notice) section with a message dated 2019/04/11, and a '24時間以内に発生したアラーム' (Alarms generated within 24 hours) section which is currently empty.

3.1 システム構築の流れ

システムの構築は以下の流れで行うことを推奨いたします。

- ◆システム設定 ⇒ システムのデフォルトタイムゾーンなど、共通の設定を行います。
- ◆グループ設定 ⇒ 管理する機器のまとまりを定義します。
- ◆ユーザに関する設定 ⇒ ユーザ（MMCloud/Y's-Cloud の使用者）の役割やグループの設定などの各種設定を行うとともに、個人ユーザの登録を行います。
※役割→ユーザの順で登録してください。
- ◆機器に関する設定 ⇒ 機器の各種設定を行います。
※型番→通信プロファイル→（アラーム）→機器の順で登録してください。
※アラームを登録していない場合でも、機器の登録は可能です。
- ◆画面表示に関する設定 ⇒ データの画面表示に関する設定を行います。



3.2 機器/型番/グループ/役割/ユーザの関係

MMCloud/Y's-Cloud を設定し、ご使用いただく上で、グループ、役割、ユーザ、型番、機器の関係をご理解いただく必要があります。この設定でユーザに見せる機器/画面を指定することが可能になります。

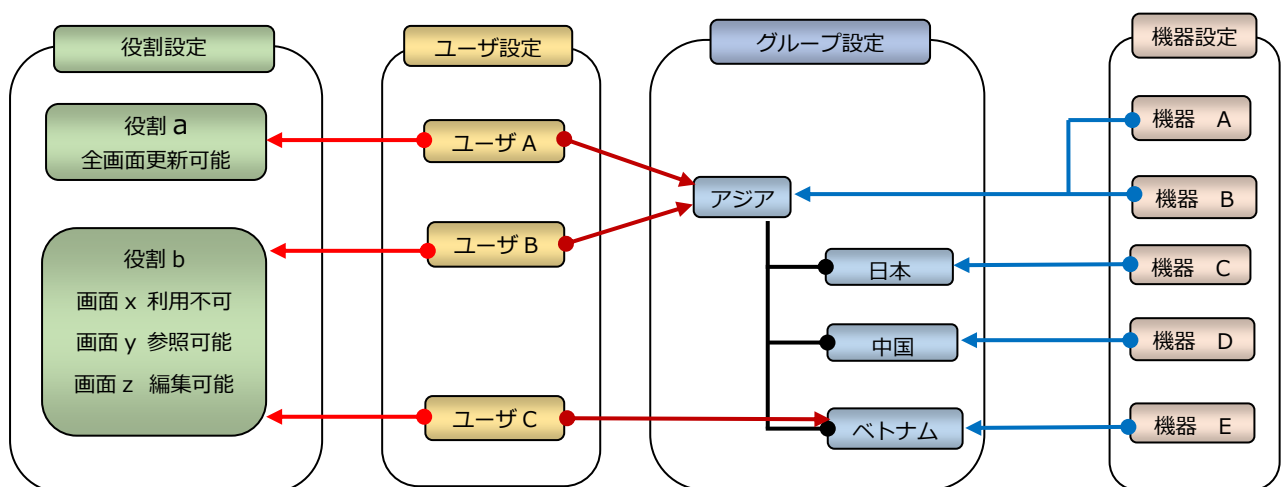
グループ ⇒ 機器の属するまとまりを「グループ」と呼びます。グループは階層構造で定義できます。どのようなまとまりで管理するかによってまとめ方は異なります。型番は機器と同じか上位のグループに属します。また、ユーザは必ずどこかのグループを担当します。

役割 ⇒ MMCloud/Y's-Cloud から提供される各画面に対する、利用不可/閲覧可能/編集可能のレベル設定を「役割」と呼びます。ユーザは設定された役割によって、画面の表示や操作を制限されます。

ユーザ ⇒ ユーザは、それぞれ特定のグループを担当します。担当するグループによって、閲覧できる機器が変わります。また、ユーザは必ず役割を割り付けられています。割り付けられた役割に与えられている権限によって、メニューや画面遷移、機能を制限されます。

型番 ⇒ 「機器」に付与された種別や分類の名称です。MMCloud/Y's-Cloud では、型番によって通信方式を設定します。

機器 ⇒ 監視などを行う 1 台ずつの対象を「機器」と呼びます。以下に地域ごとにグループ設定した場合の、ユーザ毎の見え方を説明します。

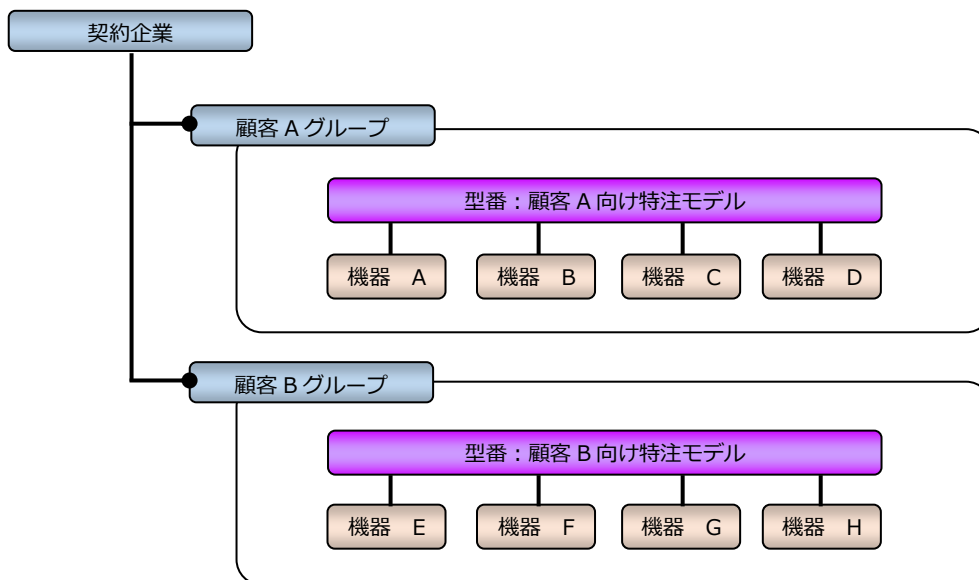


この図の場合、ユーザ A はグループトップレベルの「アジア」を担当し、全画面更新可能な「役割 a」を持ちます。この設定では、グループ「アジア」に所属する機器 A～E のすべての設定とデータを MMCloud/Y's-Cloud 上で参照／編集できます。

ユーザ B は、ユーザ A と同じ「アジア」を担当していますが、画面の一部しか参照／編集できない「役割 b」を持ちます。この設定では、ユーザ B は機器 A～E の一部機能を使えるユーザになります。

ユーザ C は「ベトナム」を担当していますので、機器 E の情報のみ参照できます。また、役割も「役割 b」なので、全画面を参照できるわけではありません。

また、以下にグループと型番・機器の関係について例を挙げて説明します。



ここでは、顧客ごとにグループを設定し、それぞれに型番および機器を定義しています。

顧客 A/B は、自グループ内の型番及び機器を見ることはできますが、お互いの型番および機器を見ることはできません。

3.3 システムに関する設定

システム全般の共通設定を行います。

<設定>メニューの<システム設定>をクリックすると、
[システム設定]画面が表示されます。

[システム設定]画面にて、

- ・"デフォルト言語"
- ・"デフォルトタイムゾーン"
- ・"デフォルトテーマカラー"

などを設定します。

詳細は「設定マニュアル」の第4章をご参照ください。



3.4 グループに関する設定

グループの設定を行います。

<設定>メニューの<グループ一覧>をクリックすると、現在のグループ設定の一覧が表示されます。

[グループ情報]画面にて、

- ・"グループ名称"
- ・"親グループ"
- ・"タイムゾーン"

などを設定します。

詳細は「設定マニュアル」の第5章をご参照ください。

設定
システム設定
グループ一覧
役割一覧
ユーザー一覧
型番一覧
通信プロファイル一覧

3.5 ユーザに関する設定

ユーザに関する設定を行います。

詳細は「設定マニュアル」の第7章をご参照ください。

設定
システム設定
グループ一覧
役割一覧
ユーザー一覧
型番一覧
通信プロファイル一覧

3.5.1 役割の設定項目

[役割情報]画面にて、

- ・“役割名称”
- ・“権限”

などを設定します。

詳細は「設定マニュアル」の第6章をご参照ください。

3.5.2 ユーザの設定項目

[ユーザ情報]画面にて、

- ・“ユーザ（姓）”
- ・“ユーザ（名）”
- ・“ユーザ権限”
- ・“役割”
- ・“担当グループ”

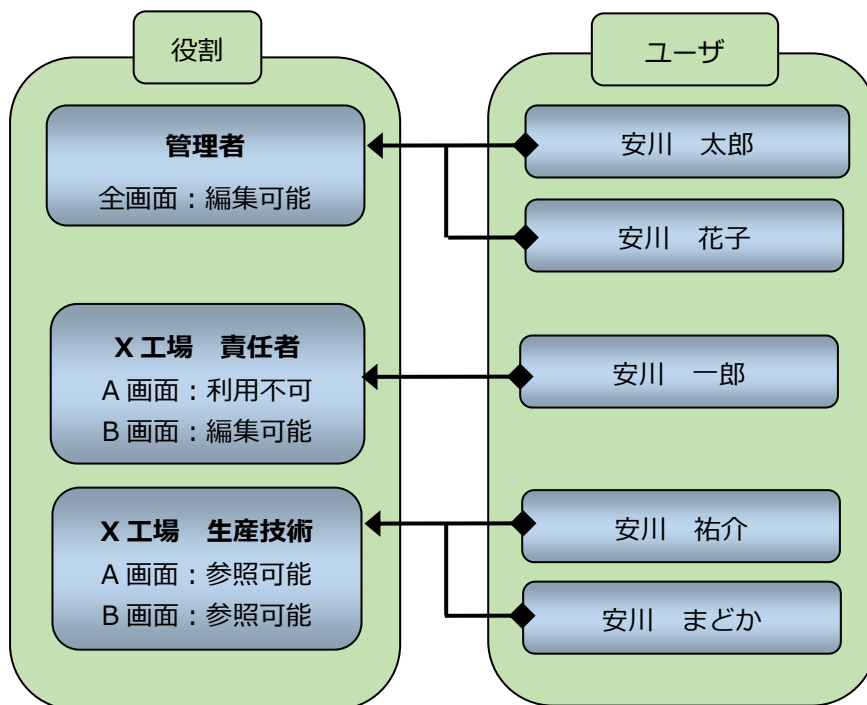
などを設定します。

詳細は「設定マニュアル」の第7章をご参照ください。

※ユーザ権限について

ユーザ権限を“システム管理者”に設定すると、役割設定での表示画面の制限や、グループ設定での表示項目の制限、ユーザのパスワード再発行といった、システム全体に関わる機能を使用できます。詳細は「設定マニュアル」の第4章、第5章、第6章、第7章、第12章、及び第16章をご参照ください。

3. 5. 3 役割/ユーザの例



MMCloud/Y's-Cloud から提供される各画面における、役割（利用不可／閲覧可能／編集可能）のレベル設定をしてください。

ユーザは必ずどこか一つの役割に属します。

また、ユーザが担当するグループも設定してください。

3.2 章に記載の通り、ユーザは担当するグループ内にある機器の情報にのみアクセスできます。

3. 6 機器に関する設定

MMCloud/Y's-Cloud で管理する物理的なものを「機器」と定義しています。

MMCloud/Y's-Cloud で機器を管理するために、以下の設定を行います。

- ① 型番情報
- ② 通信プロファイル情報
- ③ アラーム条件情報
- ④ 機器情報

概略を 3. 6. 1 章から 3. 6. 4 章にて述べます。

設定
システム設定
グループ一覧
役割一覧
ユーザー一覧
型番一覧
通信プロファイル一覧
アラーム条件一覧
トレンドビュー一覧
イベント変換一覧
配信データ一覧
機器一覧
お知らせ一覧

3. 6. 1 型番の設定項目

「型番」とは「機器」に付与された種別や分類の名称です。

例えば、弊社製品の通信モジュールの型番は「MMLink-3G」です。

また、MMLink-3G として量産された「機器」は、1 台毎に別の「シリアル番号」が割り振られます。

[型番情報]画面にて、

- ・ 型番 ID
- ・ 型番名称

などを設定します。

詳細は「設定マニュアル」の第 8 章をご参照ください。

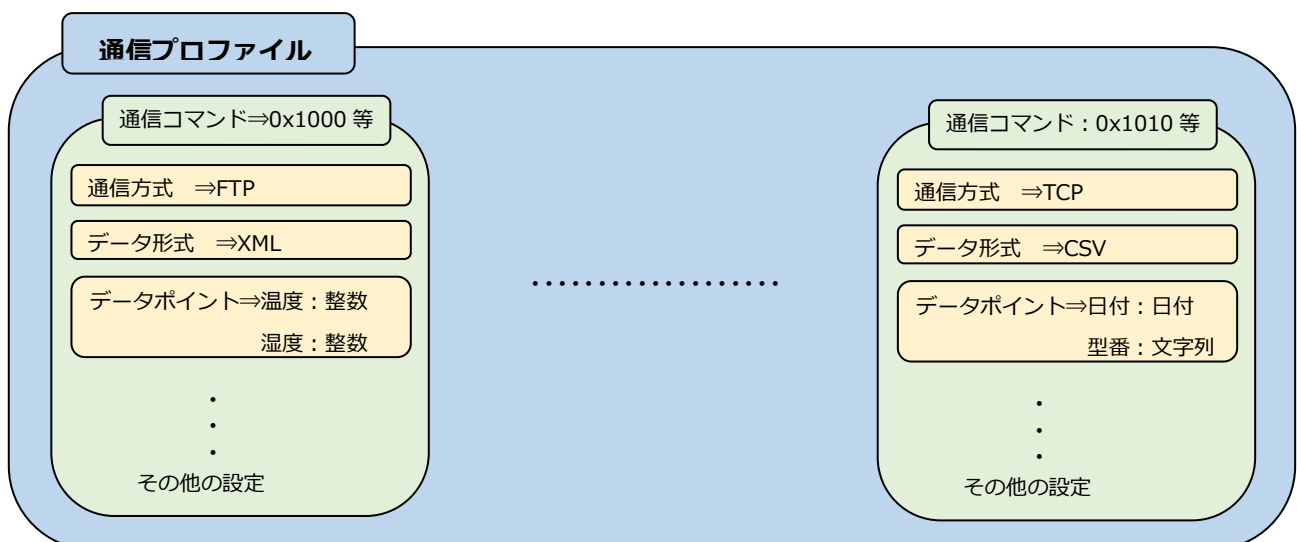
3. 6. 2 通信プロファイルの設定

MMCloud/Y's-Cloud は多様な機器からのデータ収集が可能です。その実現のために、型番毎の通信定義を記載したレシピを「通信プロファイル」と言います。

通信プロファイルでは、以下の観点から設定を行います。

- ①どんな方法で通信を行うか？ ⇒ 通信方式
- ②どんな形式でデータを貰うか？ ⇒ データ形式
- ③どんなデータがあるか？ ⇒ データポイント
- ④その他の設定

また、機器では複数の形態でデータ受け渡しを行う場合が多いため、通信プロファイルの設定では、複数の「通信コマンド」を定義していきます。



データポイントとは

機器から送られてくるデータなどを表すものです。

例えば、機器が電力計で計測した電流、電圧、消費電力量を MMCloud/Y's-Cloud に送信する場合、それぞれをデータポイントと呼び、3つのデータポイントとして定義します。

3. 6. 2. 1 通信プロファイル 設定項目の概要

<設定>メニューの<通信プロファイル一覧>をクリックすると、現在の通信プロファイル設定の一覧が表示されます。

[通信プロファイル情報]画面にて、

- ・通信プロファイル名称
- ・コマンド（通信方式、データ形式など）
- ・データポイント（コード、データ型など）

などを設定できます。

詳細は「設定マニュアル」第9章、及び、「通信設定マニュアル」をご参照ください。

3. 6. 2. 2 稼働状態設定

各機器の稼働状態および管理方法を以下から選択できます。

- ・手動設定（デフォルト） - [稼働状態設定]画面：“機器情報の稼働状態設定値に連動”
[機器情報]画面で設定した稼働状態に連動します。
稼働状態は、“停止状態”/“運転状態”/“メンテナンス中”/“出荷待ち”から選択できます。
- ・データポイント連動 - [稼働状態設定]画面：“以下で設定するデータポイントの判定条件に連動”
通信プロファイルのデータポイント値に応じて、稼働状態を連動させることができます。
通信データに機器の状態が含まれるような場合に使用します。
稼働状態は自由に定義することができます（登録最大数：10）。
- ・通信状態連動 - [稼働状態設定]画面：“通信有無のみに連動”
機器がMMCloud/Y's-Cloudと通信しているかどうかで稼働状態を判別します。

詳細は「設定マニュアル」の第10章をご参照ください。

3. 6. 3 アラーム設定

通信プロファイルで設定した任意のデータポイントに対して、アラーム条件を設定できます。

設定されたアラーム条件を満たした場合、アラームを発生させます。

(例:「データポイント:温度」が「条件:25℃以上」の場合、アラーム発生)

[アラーム条件情報]画面にて、

- ・アラーム名称
- ・発生条件
- ・復帰条件

などを設定できます。

詳細は「設定マニュアル」の第 11 章をご参照ください。

3. 6. 4 イベント変換設定

通信プロファイルで設定した任意のデータポイントに対して、イベント条件を設定できます。

設定されたイベント条件を満たした場合、イベントを発生させます。

(例:「データポイント:スイッチの状態」が「条件:通信データが 1」を満たした場合、
「施設内ドア開」というイベントが発生したとして保存する)

[イベント変換情報]画面にて、

- ・イベント変換名称
- ・変換ルール (データポイント、比較方法など)

などを設定できます。

詳細は「設定マニュアル」の第 13 章をご参照ください。

3.7 画面表示に関する設定

3.7.1 トレンドビュー設定

トレンドビューは、役割に応じて機器通信データの閲覧範囲を設定できる機能です。

以下の例では、オペレータと保守担当者それぞれの作業に必要な情報のみを含むビューを定義しています。

閲覧データを予め設定しておくことで、効率よく作業することができます。

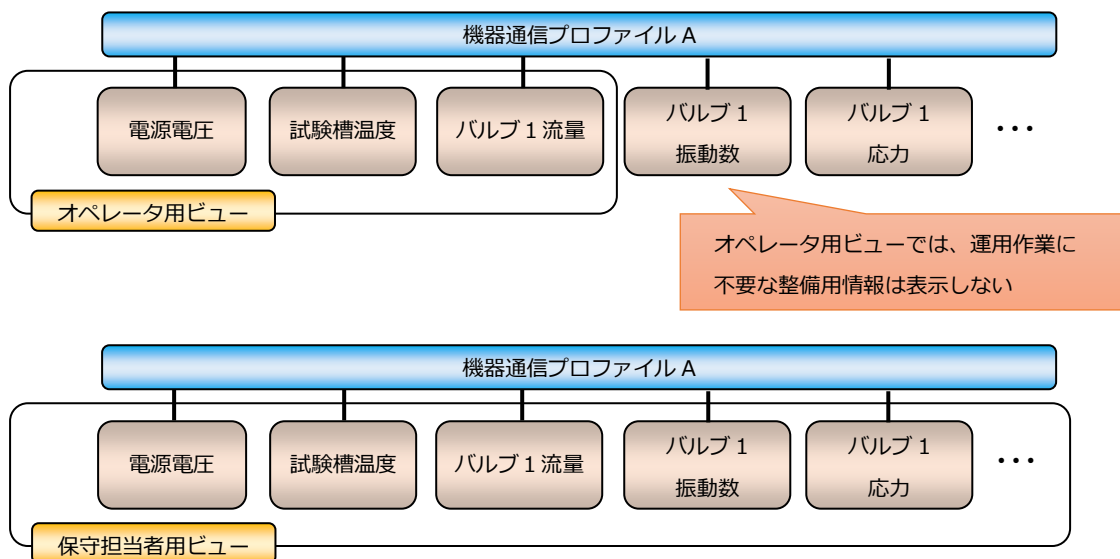
[トレンドビュー情報]画面にて、

- ・ビュー名称
- ・データポイント
- ・役割

などを設定できます。

詳細は「設定マニュアル」の第12章をご参照ください。

設定
システム設定
グループ一覧
役割一覧
ユーザー一覧
型番一覧
通信プロファイル一覧
アラーム条件一覧
トレンドビュー一覧

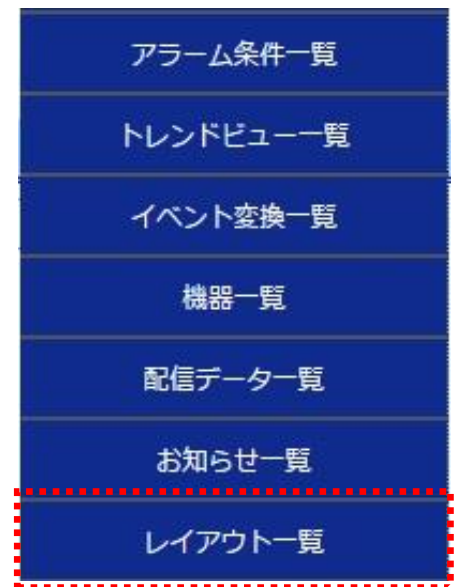


3. 7. 2 レイアウト設定

レイアウトはグループまたは型番単位で各種データポイント値や稼働状態、アラームなどをグラフィカルに表示する機能です。

レイアウトには実際の機器画像や工場ラインなどの画像を登録し、自由に配置できます。

この機能により、監視対象のイメージをつかみやすくなり、各種データ値が何を意味しているかを直感的に理解することができます。詳細は「設定マニュアル」の第 17 章をご参照ください。



注意事項

- ◆本サービスに使用されているイメージデータの一部は
Go Squared Ltd. <http://www.gosquared.com/> により提供されています。
- ◆MMCloud、MMLink は弊社の登録商標です。
その他、記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
本文中の各社の商標または登録商標には TM 及び®マークは表示しておりません。

技術的なお問い合わせ相談窓口

●サポートセンター

TEL : (03)5500-7293

E-MAIL : mmcloud_support@ye-digital.com

月～金（祝祭日及び当社休業日は除く）／9:00～12:00, 13:00～17:00

※ E-MAIL は 24 時間受け付けております。

MMCloud/Y's-Cloud ユーザーズマニュアル

[MMC-STD-PP-0010-118]

製品 URL : <https://www.ye-digital.com/jp/product/iotm2m/mmcloud/>**株式会社 YE DIGITAL**

東京都港区芝五丁目36番7号 三田ベルジュビル9F 〒108-0014

TEL : (03)6865-8900 FAX : (03)6865-8903

URL: <https://www.ye-digital.com>

Copyright© YE DIGITAL CORPORATION All Rights Reserved.